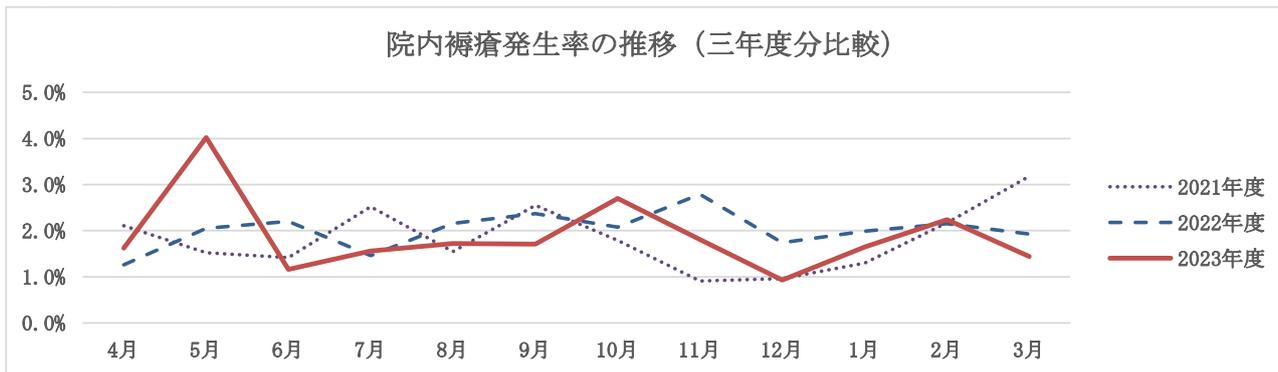


(6) 褥瘡

●褥瘡発生率の推移（三年度分比較）

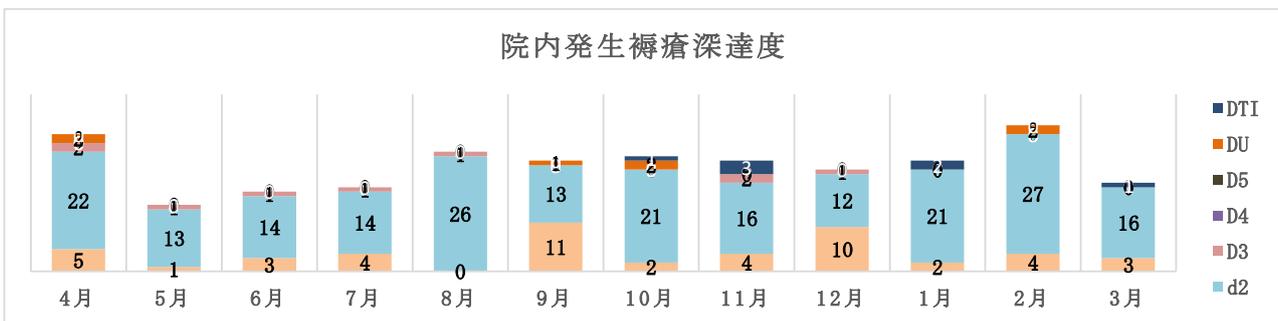
【分母】 調査日（毎月1日を定点日）の施設入院患者数

【分子】 調査日に褥瘡を保有する患者数（但し、入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数は除く）



・2023年度 院内褥瘡平均発生率1.88%、発生件数287件(2022年度平均発生率2.02%、発生件数284件)

●発生褥瘡深達度



・発見時の深達度は約93%がd1～d2の浅い褥瘡で発見。（2022年度：約80%）

・d1：持続する発赤

・d2：真皮までの損傷

・D3：皮下組織までの損傷

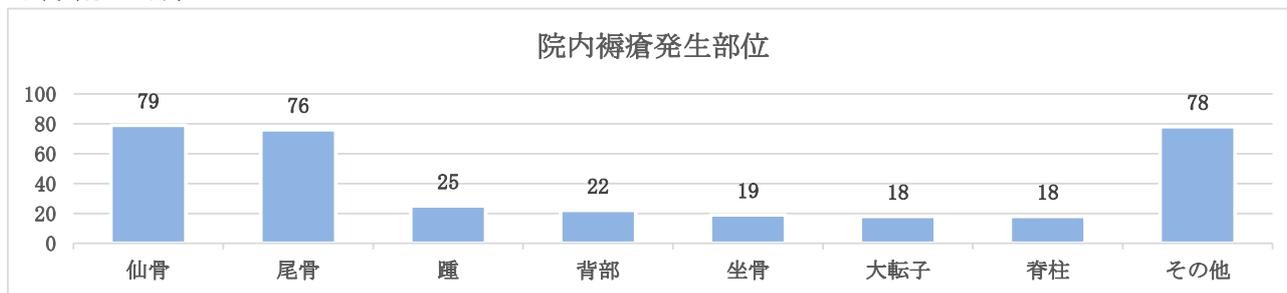
・D4：皮下組織を超える損傷

・D5：関節腔、体腔に至る損傷

・DT1：深部損傷褥瘡（DT1）疑い

・U：壊死組織で覆われ深さの判定が不能

●褥瘡発生部位



●持ち込み褥瘡件数

